



ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



事務室前は早めの紅葉

第 26 号

R5.11.2発行

文責 永田 功臣

実りの秋を実感！ いろいろな行事が満載

< 1・2年生サツマイモの収穫 >

30日(月)に1・2年生と一緒に6月に植えたサツマイモの収穫に行きました。今回も藤川さんをはじめ、たくさんの地域の方と一緒に楽しく「芋掘り」をすることができました。昨年度と品種が違い、全体的に少し小ぶりではありましたが、**鈴なりにつながっているもの**、中には**大物**もあり、たくさん収穫することができました。収穫した芋は、家に持ち帰った他、給食の食材として活用させていただきます。これまで管理いただいた地域の皆様へ感謝申し上げます。



< 5・6年生脱穀 >

先々週稲刈りを行いました。5年生のマイ田んぼで収穫したものは、学校で掛け干しし、31日(火)に松永さんの指導の下、**足踏み脱穀機**で脱穀を行いました。初めて体験する5年生は、最初は戸惑っていたものの、**だんだんと踏むタイミング**に慣れて、上手に脱穀できるようになりました。昨年度より豊作で多くとれたようです。



< 1年生の生活科授業研究 >

1日(水)には、1年生の生活科の研究授業が行われました。各自、家でとってきた動画をもとに、自分でできる家庭での仕事はないか考えていきました。「**大きい声で発表できる**」「**電子黒板を活用できる**」「**振り返りの入力をタブレットでスムーズにできる**」等、1年生の学習の「実り」を実感しました。



この他、3・4年生は見学旅行、全体では芸術鑑賞を体験しています。体験を「実り」につなげましょう。

☆はうかう☆ ~キラリと光るために~

「一生懸命はカッコイイ」という言葉をよく使います。「カッコイイ」基準は人それぞれですが、元気に明るく精一杯あいさつする姿はきっと周りをいい気持ちにするはず。それをいつも変わらずにできる人は、とてもカッコイイと私は思います。それぞれに自分らしい素敵なあいさつを続けていってください。

「カッコイイあいさつ」
二年 本田 陽風
立ち止まって
元気にあかるく
カッコイイと思われるように
かんとくんにまけない
カッコイイあいさつをする



もっとサイエンス



1日(水)の美里町教育の日講演会でアルピニストの野口健さんの話を聞く機会がありました。登山家でありながら、環境、防災、教育等についても考え、ボランティア活動を続けて行っているらしいです。エベレスト山や富士山の清掃活動のお話にとっても強く興味を引かれました。その中で一番心に残ったのは、「**環境問題は自然が相手ではなく、人間社会が相手である**」との言葉です。人や社会の意識を変えない限り、ゴミや環境破壊はなくなると改めて感じました。

話は変わりますが、世界で一番高いエベレスト山(8848m)ですが、山肌を見ると地層があり、中には海の動物の化石も残っています。どういふことか分かりますか。それは、**今一番高いところも過去には、海だった時期があった**という証拠です。

いろいろな調査から、インド半島は昔は島で、地球の大陸を動かす力によって南からユーラシア大陸にぶつかったと考えられています。そのことにより海だったところが盛り上がり、現在は一番高いところとなっています。そして今もなお、押し続けているそうです。

登山も魅力的ですが、山を造るという地球の歴史も壮大で、心が引かれます。いろいろな山を見ながら、どうやってできたのか考えてみてはいかがでしょうか。